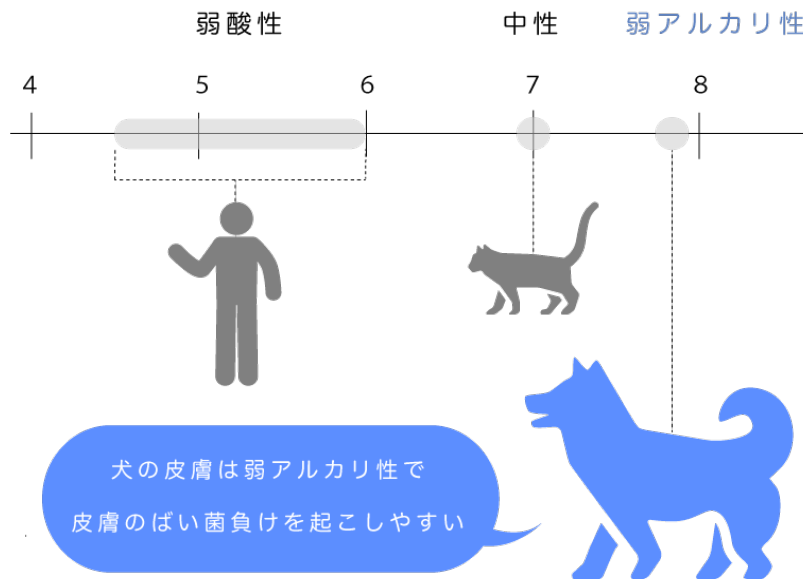


# 犬の肌について

## 人の皮膚と犬の皮膚の違い

### 皮膚のPh



#### ●皮膚の Ph

(人は Ph 4.5~6 程度の弱酸性。犬は Ph 7.8 程度で弱アルカリ性)

#### ●表皮の厚さ

(犬の皮膚は人の 1/5 程度。人のまぶたの皮膚ほどの厚さしかないため、とてもデリケート)

#### ●毛穴の構造

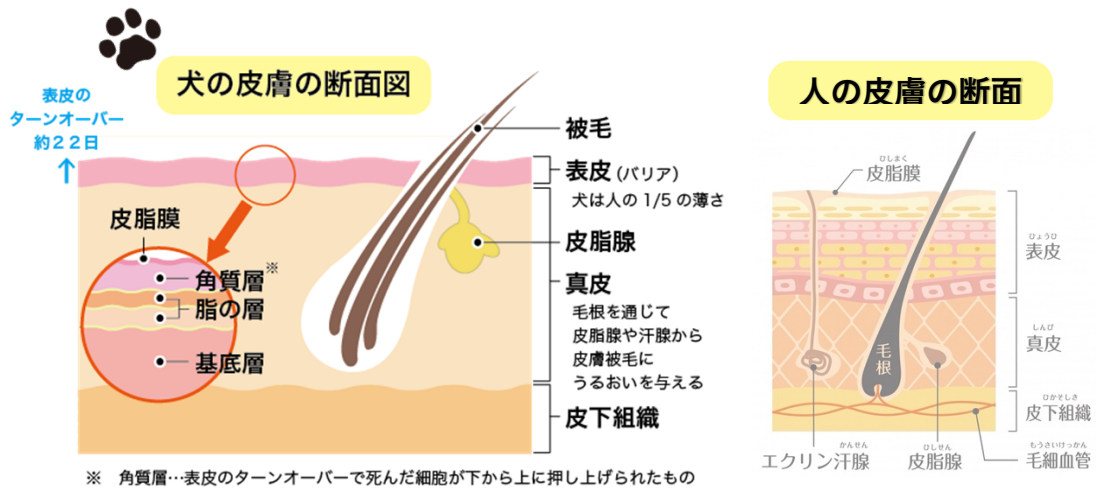
(犬の毛穴は常に開きっぱなし) = 毛穴に汚れが詰まりやすい。

#### ●汗腺の違い

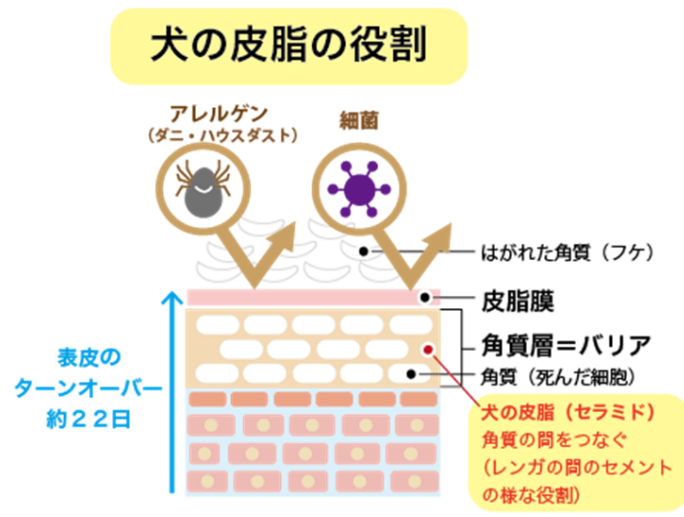
(人はエクリン腺という汗腺、犬はアポクリン腺という脂腺がメイン)

#### ●毛の数やキューティクル、ターンオーバーも違う。

(人は約 28 日。犬は 22 日)



## 犬の皮脂の役割



死んだ細胞 = 角質層 = バリア

この角質の間をつなぐのが犬自身が毛穴から出している皮脂がセラミドです。

毛根を通じて皮膚と被毛にうるおいを与え保護するために出てきます。

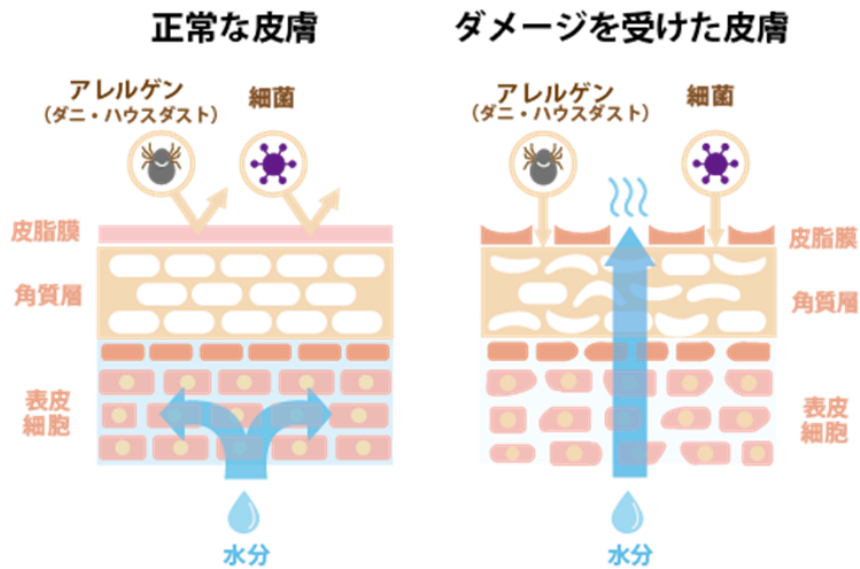
犬の皮脂は、とても薄くデリケートな皮膚を守るために大切な働きをしています。

## 合成界面活性剤入りのシャンプーで起こること

合成界面活性剤入りのシャンプーで洗うと↓

どれだけよくすすいでも、合成界面活性剤が皮膚に残る→皮膚刺激が起こり、皮膚の保護膜がきちんとはれなくなる→乾燥する→バリア機能が低下→ダメージを受けた皮膚になる。

(体内に細菌やアレルギーが入りやすくなって、かゆみが出る、皮脂の過剰分泌、カビや細菌が繁殖して悪臭の原因になったりする。)



## 手作り石けんの目的 = 皮膚のバリア機能の回復と保持

犬の皮膚にとって、それほど大事な皮脂ですが シャンプーした後は皮膚と被毛に皮脂が行き渡るまで約3日かかります。

その3日間はバリア機能がとても低下している状態になるのです。

しかし、手作り石けんで洗うと、洗い流した時に、せっけん成分と水中のミネラル分が反応し膜を作るため、その膜が皮脂の代わりに肌を保護してくれます。

これはどんなにお肌に優しい市販のシャンプー剤でも絶対にできません。

それに手作り石けんは石けんを作る過程で、天然のグリセリンができるので、保湿効果は抜群にいいのです。

(グリセリンは薬局などであかぎれの薬として売られているほどの保湿力)

犬の皮膚はデリケートですが、きちんと汚れを落とす洗浄力も必要です。

ゆう工房の手作り石けんがPh9程度なので、被毛のキューティクルを傷めずに、皮膚表面をピーリングしながら洗えるので被毛にも優しく、犬の皮膚の正常なターンオーバーも促します。

このようなシャンプー剤は市販では中々見当たらないと思います。

- 犬の皮膚に近いPhでお肌に優しい
- 犬の毛穴の汚れをきちんと洗える洗浄力がある
- 保湿力が抜群
- お肌に有害と思われるものは一切含まない
- 泡切れが早く速乾
- 被毛を傷めず、リンスいらずで、洗い上がりはふわふわ柔らかか

そして、その結果として、

- 臭いの軽減
- かゆみの消失
- 脱毛改善

など嬉しい報告をたくさんいただいています。

今現在は健康な皮膚の子も合成界面活性剤入りのシャンプー剤を使い続けていれば、将来どうなるか想像することは難しいと思います。

犬は話せないからこそ、できるだけかゆみやストレスなく過ごしてほしいと思います。